

1. つぎの文章を読んで後の問いに答えなさい。

祖母のいる田舎で育った「私」は、小学校の最終学年を
 浜松の両親の元で暮らしたが、田舎でのんびりやっていた
 ために、中学の入学試験は不合格だった。そして、師範学
 校の附属小学校の高等科で一年勉強し、翌年の入試を受けた。
 試験から一週間程して合格者の発表があった。私はひとり
 それを見に行った。校門に張り出されている名前の中に、意
 外にも私は自分の名前を見出した。私は近所の商家の子で、や
 り合格者の中に名前を書かれてあった三ちゃんという友達に、
 自分が合格していることを家にしらせてくれるように頼んで、
 他の落第した少年たち三人と町外れの縁日を見に行った。軽業
 を見たり、小屋掛けの店を一軒一軒のぞき込んだりした。浜松
 へ来てから初めて気持ちのはれた日であった。もう再び受験勉
 強をすることもいかなかったし、入学試験を受ける必要もな
 かった。春の陽射しは暖く、吹く風は頬にやわらかかった。落
 第した連中は発表の掲示を眼にした時はしよげていたが、縁日
 の雑踏の中へはいると、もうそのことを忘れてしまったらしく、
 平生と変わらぬように戯れて組打ちしたり、追ったり、追われ
 たりした。

この日も私は日が暮れてから家へ帰った。家には誰も居な
 かった。私が自分の部屋へはいつていると、外から帰って来た
 母が、庭先の方から私の部屋をのぞいて、
 「ああ居た！ 居ましたよ、おりましたよ」
 と叫んだ。するとやはり表の方から軍服姿のままの父がやって
 来て、

「居たか！」

と叫んだ。

「はいれた」

私が言うと、

「はいれた!?」

父は言った。

「中学へはいれた」

「中学へはいれた!?」

父親は、複雑な表情で言った。

「本当か。お前、どうかしているんじゃないか」

「坂田屋の三ちゃんに聞いたら判る。僕も三ちゃんもはいれた」

私が言うと、母はすぐ駆け出して行った。私が言った坂田屋

へ聞いただしに行ったものらしかった。間もなく母は帰って来

て、父に、

「はいったそうです」

と言った。合格したことが判ると、とたんに父はどなった。

「合格の発表を見たら、なぜそれをすぐ家に知らさぬか、ばか

者！」

私は坂田屋の三ちゃんに家にしらせるように頼んでおいたの

であったが、三ちゃんは自分が入学したことうれしさと、私

の伝言を忘れてしまったのである。母はこんどこそ私が自殺す

るのではないかと思っただらしかった。衛戍病院から帰った父も

母と同じことを考えたらしく、二人が心当りを探したり、警察

へも届けたり、大騒ぎをしているところへ、私は帰って来たの

であった。父は平生めつたにおこることはなかったが、この時
 は顔を赤くしておこった。

(井上靖「帽子」による)

- * 師範学校 || 旧制度で、教員を養成した学校。現在の学芸大学・教育大学などの前身。
- * 軽業 || 身軽に行く危険な曲芸。
- * 小屋掛け || 催し物のため、仮に小屋を作ること。
- * 組打ち || 取っ組み合い。
- * 商家 || 商人の家。
- * 衛戍病院 || 陸軍病院の旧称。

(1) 線①「意外にも私は自分の名前を見出した」とありま
 が、この部分からわかることとして最もよいものを次から選
 び、記号で答えなさい。

- ア 当然、試験には合格するものだと思っていたが、少し心配もあつたので、合格してほつとした。
- イ 試験には合格すると思っていたが、予想していたほどの感動はなかった。
- ウ 試験は不合格だと思っていたが、本当に不合格になつてみると、予想以上にシヨックが大きかった。
- エ 試験は不合格だと思っていたが、予想が外れて、合格していたことにおどろいた。

(2) 線②「ああ居た！ 居ましたよ、おりましたよ」とあり
 ますが、そう叫んだときの母の気持ちとして最もよいものを次
 から選び、記号で答えなさい。

- ア 子どもが家にいたのでとても安心したうえに、試験に合格したと聞いて、さらに安心したから。
 - イ 試験に合格するとは思っていなかったため、子どもの言葉を聞いても、全く信じられなかったから。
 - ウ 子どもがうそをついたことをおこるより、そこまで追いつめてしまった自分が悪いと思ったから。
 - エ すぐわかるうそを言うほど、子どもがしかられることをおそれているのがわかったから。
- (3) 線③「複雑な表情」とありますが、なぜ複雑な表情になつたのでしょうか。最もよいものを次から選び、記号で答えなさい。

(4) 線④「この時は顔を赤くしておこった」とありますが、
 だがどうしたことに對しておこったのですか。三十字以内で
 書きなさい。

【漢字問題】の出題範囲につきまして ※入塾試験の受験時期によって、出題される範囲が変わりますのでご注意ください。

○四月～七月に入塾試験を受験される方：前学年までの履修範囲から、漢字の書き取り・読み取り問題を出题します。

○八月～十二月に入塾試験を受験される方：前学年までの履修範囲から漢字の書き取り問題を、現学年一学期までの履修範囲から漢字の読み取り問題を出题します。

○一月～三月に入塾試験を受験される方：前学年までの履修範囲から漢字の書き取り問題を、現学年二学期までの履修範囲から漢字の読み取り問題を出题します。

2. つぎのぼう線部の漢字をひらがなに、ひらがなを漢字にしなさい。

- ① 順番を守りましょう
- ② 反対意見を唱えた
- ③ 日照りつづきの毎日です
- ④ 古い城下町
- ⑤ 信用を大事にする店
- ⑥ 一月の成人の日
- ⑦ つめたい井戸水
- ⑧ 係の人が説明してくれた
- ⑨ この湖は浅いようです
- ⑩ 奈良県をたずねる
- ⑪ 熱心に仕事をしている
- ⑫ 信念にもとづいて生きる
- ⑬ 博物館の受付係

⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

- ① 長い間まつ
- ② じゅうだいなことをたのむ
- ③ 本のだいめいがわからない
- ④ 有名人とのたいだん
- ⑤ コップに水をそそぐ
- ⑥ にわさきに小鳥があつまる
- ⑦ はながよくきく
- ⑧ おもてとうらをたしかめる
- ⑨ サッカーぶに入る
- ⑩ 新しいふくを買う
- ⑪ かわいいどうぶつたち
- ⑫ ひらたい入れもの

⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

【いふはのきまりの問題】(主語・述語・かぶりことばなど)も出題します。

3. 次のそれぞれの文の□の述語に対する主語を、線部から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① ア さわやかな イ 風が ウ そよそよと □ ふく。
- ② ア かの女の イ 歩く ウ 姿は エ とても □ きれいだ。